

都道府県別指導体制状況(令和5年3月31日現在)

※GAPについて、高い水準で指導できると推定される指導員数(指導に必要な知識を習得するための研修を受講し、3件以上の指導実績がある者の数)

(単位:人)

都道府県	指導員数
北海道	211
青森県	133
岩手県	44
宮城県	11
秋田県	44
山形県	127
福島県	207
茨城県	200
栃木県	91
群馬県	15
埼玉県	105
千葉県	56
東京都	104
神奈川県	41
山梨県	14
長野県	142
静岡県	118
新潟県	73
富山県	78
石川県	145
福井県	56
岐阜県	154
愛知県	175
三重県	202
滋賀県	26
京都府	120
大阪府	27
兵庫県	57
奈良県	24
和歌山県	17
鳥取県	5
島根県	98
岡山県	11
広島県	9
山口県	43
徳島県	28
香川県	53
愛媛県	74
高知県	28
福岡県	175
佐賀県	59
長崎県	20
熊本県	81
大分県	109
宮崎県	131
鹿児島県	25
沖縄県	50
合計	3,816

出典：農林水産省農産局農業環境対策課調べ（都道府県から聞き取り）